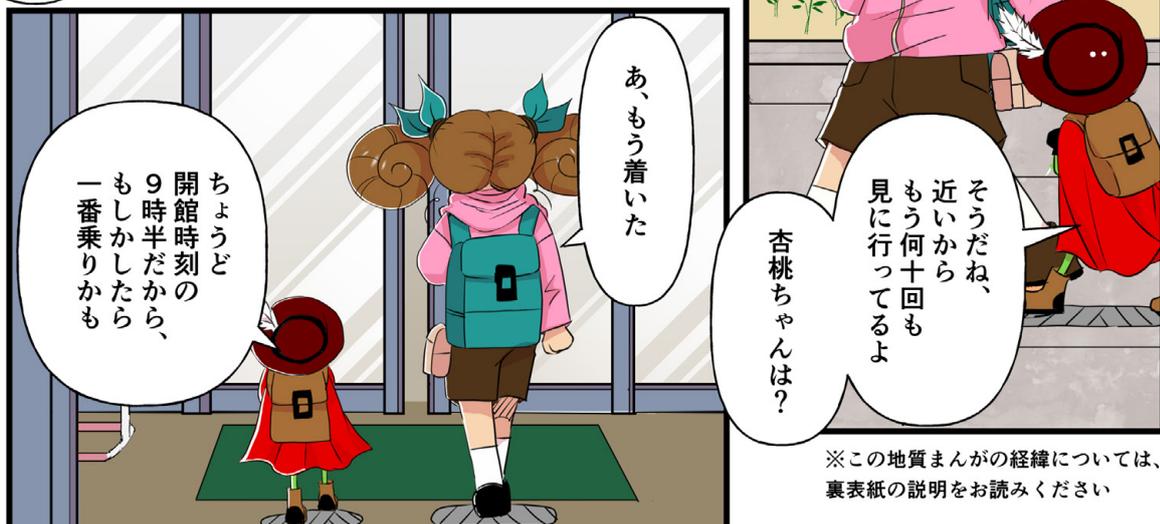
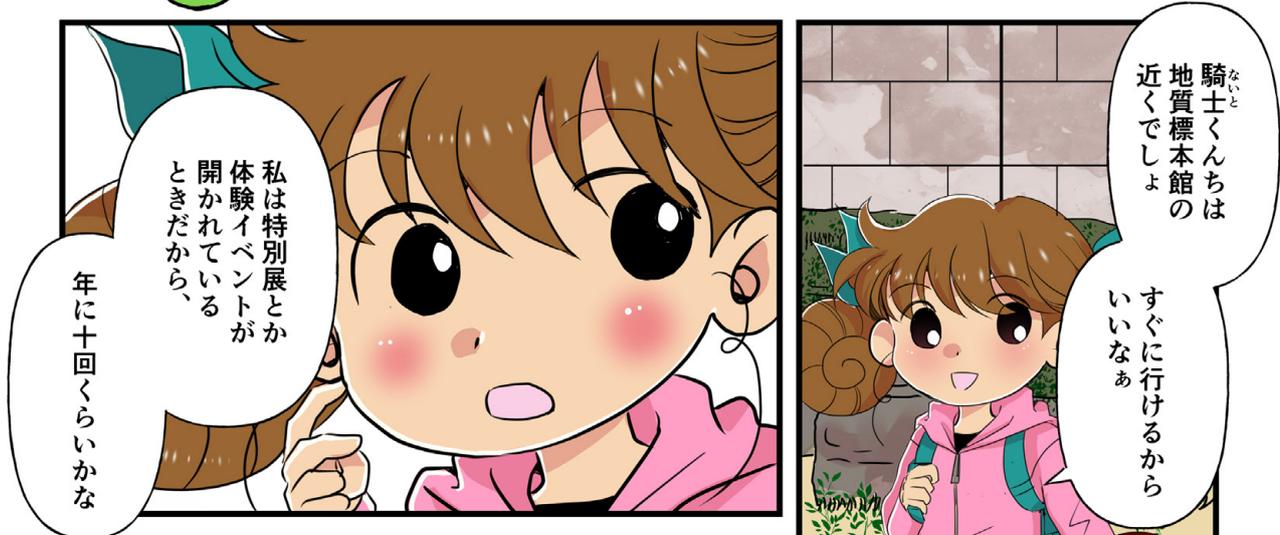


地質標本館キッズページからやってきました

～「地質標本館キッズページの地質まんがを紹介したいのですが、
これってその地質まんの第12話なの？」の巻～

作：石井 武政¹⁾

絵：正根寺 幸子¹⁾



※この地質まんの経緯については、裏表紙の説明をお読みください

1) 産総研 地質調査総合センター-地質情報基盤センター

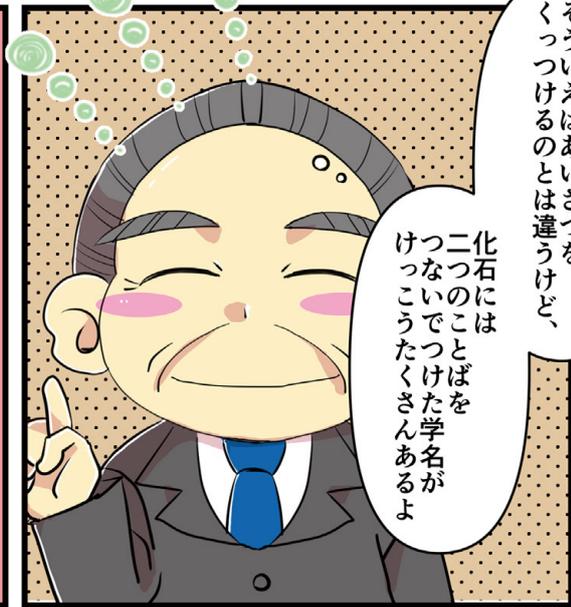
キーワード：地質標本館キッズページ、地質まんが、杏桃(あんも)ちゃん、騎士(ないと)くん、館長さん





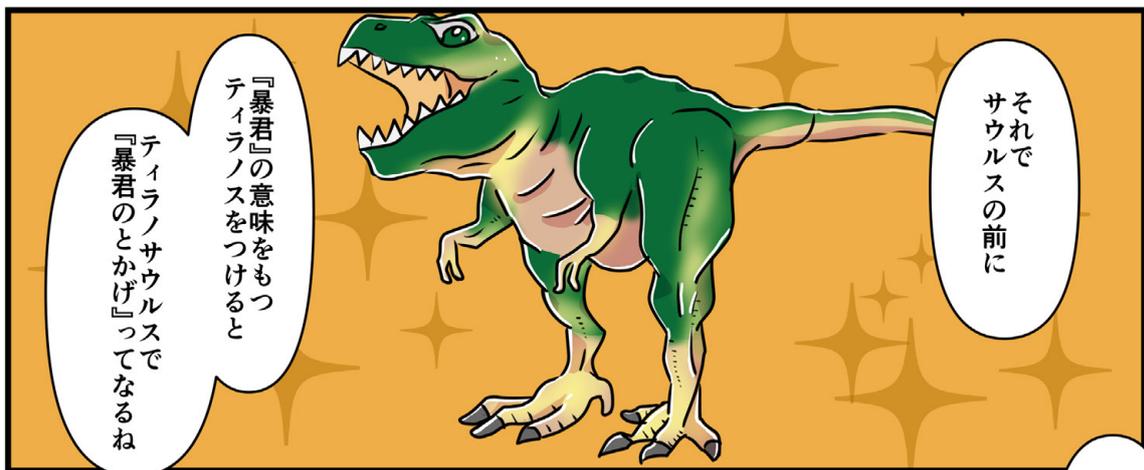
恐竜の名前で
サウルスは

とかげ、
ラプトルは泥棒、
ドンは歯っていう
意味があるってこと、
前にお話したこと



そういうえばあいさつを
くつつけるのとは違うけど、

化石には
二つのことばを
つないでつけた学名が
けっこうたくさんあるよ



それで
サウルスの前に

『暴君』の意味をもつ
ティラノスをつけてと

ティラノサウルスで
『暴君のとかげ』ってなるね



それって
ひどくない？

名前を
変えてあげようよ

学名はそう簡単には
変えられないから
仕方ないかな



それから
オビイという
卵の意味のついた

オビイラプトルは
『卵泥棒』になるんだけど、

発見されたときの
化石の姿は
他の恐竜の卵を
盗んでいたんじゃないかって

自分の卵を
温めていたところ
だったようだね



ぼくたち地質標本館で断層や火山の展示を見てきたけど、

なぜ地震や噴火が起こるのかわからなかった



ところで杏桃ちゃん、地質まんがの一冊の本になるらしいね

館長さんももちろん登場するんだよ
完成が楽しみ



もしかしたら地質まんがで取り上げた内容はキッズのみんなの参考になったのかな？

地質まんがで地質に興味をもった

キッズのみなさんがうんと増えてくれるとうれしいです

だといいいね



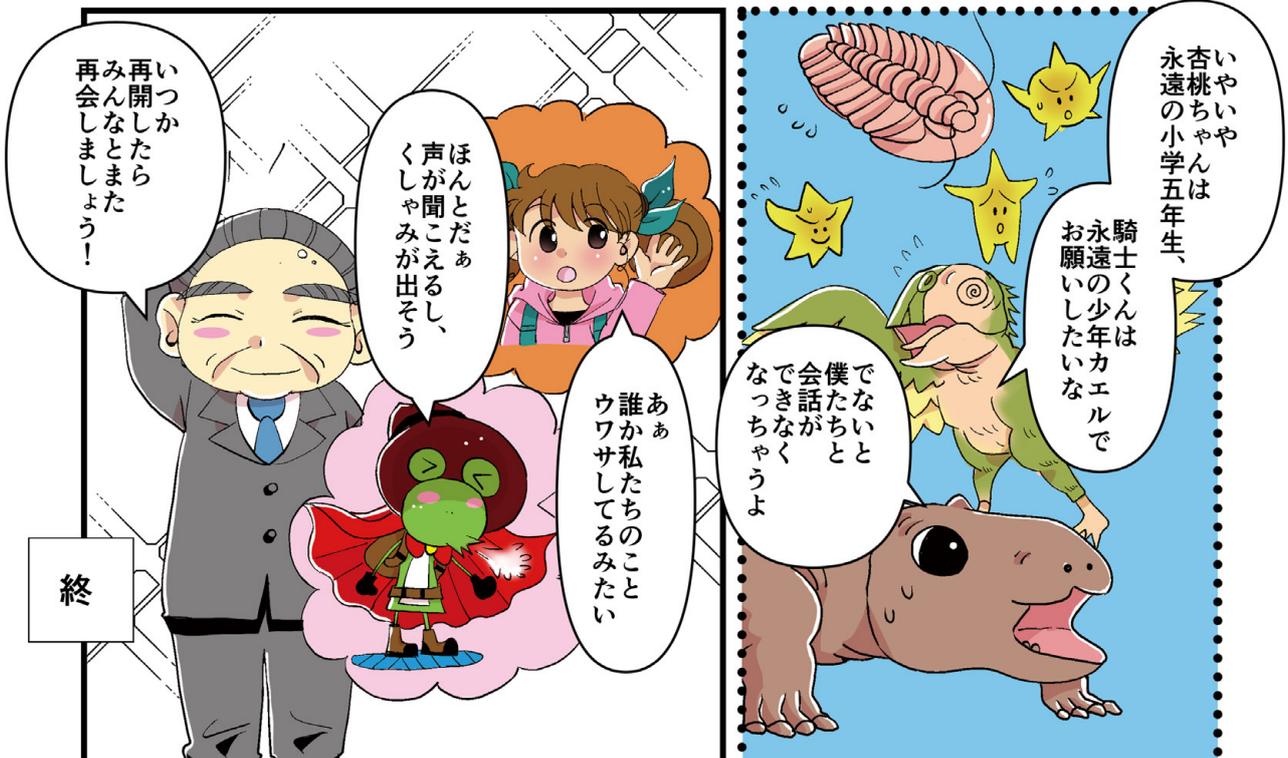
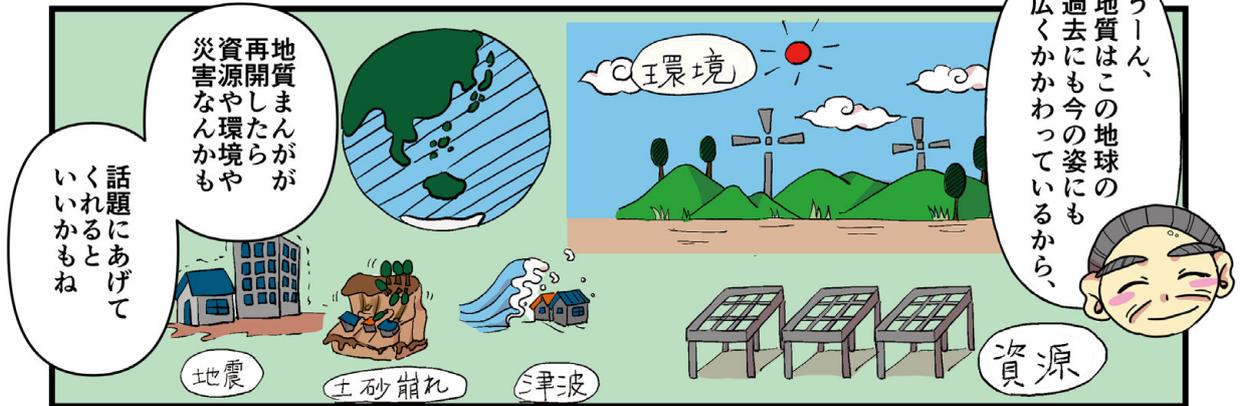
それを館長さんがよく説明してくれて

すごくためになった



難しい言葉があっただけど

ぼくはもっともっと地質のことを知りたくなった



ISHII Takemasa and SHOKONJI Sachiko (2020) Hi, we are from the Geological Museum kids page.

(受付：2020年3月23日)